

あけほの

医療法人社団曙会
シムラ病院ニュースレター
令和5年度 (vol.12)

● ごあいさつ

日頃より格別のご指導・ご鞭撻を賜りまして心より感謝申し上げます。
当院は昭和33年にシムラ外科医院として祖父である種村等が開設し、今年創立65周年を迎えます。祖父は30年史に「顧みれば盆も正月も返上して、いつでも、誰でも急患に対しては、年中無休診療と云う旗を掲げて、とも角、傍目もふらず突っ走ってきたこの30年。救急医療こそわが病院の命であり、私の血であり肉でもあったのです」と記しています。
外科医院として開設した当院は、現在は整形外科中心の病院へと変化し、役割は緩和ケアまで多岐にわたっていますが、これからも当院の果たすべき使命と役割は変わらないと思っています。「24時間365日断らない救急を実践し、全人的医療を全うする」という当院の理念のもと、一意専心の思いで精進してまいります。



昨年度は理事長として1年目でしたが、初めて当院でCOVID-19のクラスターが発生しました。クラスターは3度発生し、そのたびに当院の救急医療・通常の業務をどのように継続していくか、前院長である岩田尚士先生には多大なご支援を賜りながら、大変苦心した1年でした。しかしながら、救急車受け入れ台数は1555台で、過去最高で更新することができました。これらは、近隣の施設や医療機関の皆様方にご紹介や転院に際して大変なご迷惑をおかけしましたが、ご協力をいただいたおかげであると改めて感謝申し上げます。また、コロナ禍において救急医療を支えてくださった救急隊の方々にも心より感謝申し上げます。

今年度は新院長・特別院長をはじめとした沢山の先生方にご勤務頂くことが実現し、今後当院の果たすべき役割がより広く、充実したものになると考えています。整形外科領域では最先端の脊椎外科手術、内科領域では内視鏡検査など健診や外来診療、全身管理体制の構築や包括的医療の推進にも力を入れてまいります。昨年に引き続き、広島大学病院様との連携をとりながら外傷手術や呼吸器外科手術・乳腺外科診療・漢方診療にも取り組んで参ります。益々地域の皆様にご必要とされ、頼りにされるシムラ病院となるよう、精一杯努力していきたく思います。

今年度も昨年度と同様の温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年4月吉日
医療法人社団曙会シムラ病院
理事長 池尻佑美

目次

- 表紙 : ごあいさつ 理事長 池尻佑美
- 目次
- 院長就任のごあいさつ : 院長 高野弘嗣 (P.1)
- 特別院長就任のごあいさつ : 特別院長 藤林俊介 (P.2)
- 新任医師のご紹介
 - 手術麻酔部 部長 田口志麻 (P.3)
 - 整形外科医師 齋藤文寿 (P.3)
 - 内科医師 清下裕介 (P.4)
 - 内科医師 上垣内 由季 (P.4)
- 就任・新任のごあいさつ
 - 主任薬剤部長 八本久仁子 (P.4)
 - 看護部長 富吉直美 (P.5)
 - 看護副部長 山崎真由美 (P.5)
 - 看護副部長 新谷公伸 (P.5)
- 脊椎外来について (P.6-P7)
- 内科新体制について (P.7)
- 専門外来「手の外科」のご紹介 (P.8)
- 患者支援センターのご案内 (P.8)
- 介護付有料老人ホーム「ハビリス・シムラ」のご紹介 (P.9)
- 外来診療・専門外来予定表・病院情報 (P.10)



● 院長就任のご挨拶

この度令和5年4月1日より、院長を拝命いたしました高野弘嗣と申します。

私は昭和59年に広島大学卒業後、広島大学第一内科（現在は消化器内科学）に入局し、尾道総合病院、広島赤十字・原爆病院を経て、呉医療センター・中国がんセンターに16年間勤務し、主に肝臓病を中心に診療及び臨床研究にかかわってまいりました。

シムラ病院は、創設から65年にわたり、外科中心の医療を提供を継続しており、その培ってきた伝統と信頼は、誇れるものと思っております。

今後も、患者さんのために最善を尽くし、医療技術の進歩に合わせた設備や施設の整備、スタッフの教育など、病院全体を挙げての取り組みを進めてまいります。また、地域医療に貢献するため、地域の先生方や看護師とも連携を深め、地域の方々が安心して利用できる医療機関となるよう、努力してまいります。



院 長
高 野 弘 嗣
こうの ひろし

そして、この度、初めて私を含め4名が消化器内科医として勤務することとなりました。消化器内科医の勤務は、今後の病院の発展にとって重要な役割を果たすこととなります。整形外科医、外科医の先生方が手術に専念できるように急性期のサポートを行いつつ、退院に向けた治療とかかりつけの先生方への診療情報の提供などにかかわらせていただくと共に、上下部消化管内視鏡検査の体制を充実したものに構築し、外来診療も拡充していく所存です。

今後も、シムラ病院が地域に貢献し、患者さんにとって信頼できる医療機関であることを目指し、私たち一同、全力で取り組んでまいります。

力の及ばない点多々あるとは思いますが、皆様何卒宜しくご指導のほどお願い致します。

所属学会	資 格	専門分野
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本肝臓学会 ● 日本内科学会 ● 日本消化器病学会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本肝臓学会 指導医、肝臓専門医 ● 日本内科学会 認定内科医 ● 日本消化器病学会 指導医、消化器病専門医 	<ul style="list-style-type: none"> ● 肝臓病

【外来担当日（内科）】

曜 日	午 前	午 後
月曜日	●	●
火曜日	—	—
水曜日	●	●
木曜日	●	—
金曜日	—	—
土曜日	●	



● 特別院長就任のご挨拶

広島の皆様、この度、京都から参りました藤林と申します。京大病院では20年間にわたり、整形外科・脊椎外科治療をリードすると同時に患者様に優しい低侵襲手術のための医療機器の開発を行ってまいりました。

私が担当します脊椎疾患は腰や首などの痛み、神経圧迫に伴う手や足の痛みやしびれ、増悪すると手や足の麻痺や排尿障害など様々な症状を発症し、日常生活に支障をきたすようになります。また背骨の変形は痛みなどの症状だけではなく、外見上の問題や、変形に伴い消化器症状など他の疾患を誘発するリスクがあります。治療においては適切な治療法の選択と適切なタイミングでの介入が重要です。われわれ脊椎外科医はプロとしての自覚を持ち、患者様の健康を第一に考え、より良い医療を提供する必要があります。



特別院長・脊椎センター長
藤林 俊介
ふじばやし しゅんすけ

私は常に患者様目線での医療を行ってまいりました。最も大事なことは正確な診断を早期につけることです。そののちに患者様やご家族と相談しながら、病気の状態に適した治療方針を立てて治療を開始します。時には早急の手術治療が必要となることもあります。

手術は可能な限り低侵襲な方法が望ましいですが、時には大きな手術を選択しないといけないこともあります。内視鏡や顕微鏡を用いた神経の圧迫を取り除く小さな手術から金属製のインプラントを用いて背骨の変形を矯正する大きな手術まで多くの種類の手術がありますので、患者様と相談しながら、最も適した手術を決定してまいります。

われわれ脊椎外科医はあらゆる手術を高いレベルで安全に提供するための技術を身につけておく必要があります。私はこれまでの長い経験を生かし、高いレベルの医療を広島の患者様に提供いたします。また、手術を行うだけでなく、生活指導を含めきめ細かな術後の患者様の身体のメンテナンスも行ってまいります。一生涯を通して患者様に安心を提供することを約束いたします。

所属学会	資格	専門分野
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本整形外科学会 ● 日本脊椎脊髄病学会 ● 中部日本整形外科災害外科学会 ● 日本バイオマテリアル学会 ● 日本成人脊柱変形学会 ● 日本脊椎インストゥルメンテーション学会 ● 日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本整形外科学会・整形外科専門医 ● 日本脊椎脊髄病学会・脊椎脊髄外科指導医 ● 日本整形外科学会・脊椎脊髄病医 ● 日本整形外科学会・脊椎内視鏡下手術・技術認定医 ● 脊椎脊髄外科専門医 	<ul style="list-style-type: none"> ● 脊椎変性疾患 ● 脊柱変形 ● 脊椎骨粗鬆症 ● 内視鏡手術 ● 脊椎・脊髄腫瘍 ● 脊椎外傷 ● 脊椎スポーツ障害

※外来担当日（整形外科）（予約制）

木曜日午前 及び 土曜日午前

※脊椎専門外来日（予約制）

木曜日午前 及び 土曜日午前



● 新任医師のご紹介

手術麻酔部 部長 田口 志麻 (たぐち しま)

令和4年10月よりシムラ病院麻酔科に赴任いたしました田口志麻と申します。

前任地の広島大学病院では、個々の患者さんの麻酔管理以外に、曜日別の手術室責任者と痛みの外来・入院治療を担当する傍ら、疼痛モデルラットの研究に携わっておりました。また、大学病院の緩和ケアチームの一員や広島市救急救命士養成所の専任教授も経験させていただき、多くの方々と貴重な関わりを持たれたことは感謝に堪えません。

一方、シムラ病院の池尻佑美理事長とハビリス・シムラの澤 衣里子施設長とは旧知の仲で、特に理事長とは麻酔科医として難治性疼痛疾患の治療や学会発表などを共に行い、親交を深めて参りました。そんな折、シムラ病院で一緒に働かないかと声をかけてもらい、このたび麻酔科堤 保夫教授のご高配により赴任いたしました。



シムラ病院は「断らない救急」を病院理念とし、手術件数も年々増加し発展しています。より安全な手術環境の整備のためには麻酔科医増員は必須であり、さらに術後急性・亜急性期痛管理、救急隊員の方々との連携など、私の経験が微力ながらも最大限に活かせる職場に運命を感じております。

赴任して半年、皆様のお力添えをいただきながら、多くの患者さんの周術期管理に関わりやりがいを感じています。大学病院在職中も大学病院ならではの楽しさがありましたが、今は術後の患者さんと廊下ですれ違い際に雑談するなど、より患者さんを身近に感じられます。また病院の窓からは、天満川の水面が陽の光に輝き、平和大通りの並木が四季折々に色づく様子を一望でき、温かく幸せな気持ちになります。

今後も、手術を受けられる全ての患者さんにより安全で痛みの少ない周術期医療を提供できるように精進してまいります。また私の専門分野を活かした難治性疼痛や区域麻酔(神経ブロック)に関する研究に着手し、新たな知見をシムラ病院から報告していく所存ですので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

● 術後疼痛管理チームについて

田口先生をお迎えして、術後疼痛管理チームの活動を行っています。



● 新任医師のご紹介

整形外科 齋藤 文寿 (さいとう ふみひさ)



令和5年4月より赴任いたしました齋藤文寿と申します。昨年までは福岡大学病院整形外科で勤務しておりました。整形外科医としての経験はまだ浅く、未熟者ですが少しでもお力になれるよう、努めていく所存であります。

シムラ病院は救急患者数も多く、外傷症例はもちろん変性疾患の手術件数も豊富であり、また今年からは京都大学より藤林先生も赴任されるということで、貴重な症例を経験をできると感じております。まだまだ余裕もなく、慌ただしい日々ではありますが、患者様に寄り添った医療を提供できるよう精進してまいりますのでどうかよろしくお願ひ申し上げます。

● 新任医師のご紹介

内科 清下 裕介 (きよした ゆうすけ)

この度、令和5年4月よりシムラ病院にて勤務させていただくこととなりました。消化器内科の清下と申します。今まで広島大学病院にて初期研修後に呉共済病院にて後期研修をさせていただき、再度広島大学病院にて勤務後にシムラ病院へと転勤となりました。これまでは総合病院にて勤務していたため、消化器内科の診療に専念しておりましたが、シムラ病院では消化器内科にこだわらず全身を診る医師として外来、入院ともに従事させていただきたいと考えています。

また、今まで経験してきた内視鏡検査・治療も役立てたいと思っており、シムラ病院でも気軽に内視鏡ができる態勢を整えていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



内科 上垣内 由季 (かみがいち ゆき)

令和5年4月より、シムラ病院内科に着任しました上垣内 由季と申します。平成26年に広島大学を卒業後、これまで消化器内科領域を中心に診療を行なってきました。主に内視鏡診療・治療を中心に研鑽を積み、消化管疾患の診療に従事しております。

約半年間の産休育休を経て、この度シムラ病院で勤務させていただくこととなりました。

不慣れでご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、患者様・周辺地域の皆様方のお役に立てるように精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



● 新任・就任のご紹介

診療技術部 主任薬剤部長 八本 久仁子 (やつもと くにこ)

令和4年4月より、ご縁あってシムラ病院に勤務させていただいております。令和4年3月まで30年間国立病院機構に勤務し、広島、山口、島根、鳥取各県への転勤を経験して参りました。緩和薬物療法認定薬剤師や、認定実務実習指導薬剤師等の資格もありますので、これまでの経験をいかし、薬剤科スタッフには認定薬剤師取得のバックアップを行い、そして今後は、薬学生の教育にも関わっていきたくと思っています。

シムラ病院に勤務して思うことは、職種間の距離がとても近いということです。だからこそシムラ病院の薬剤師にしかできないことがあるのではないだろうか。今は、その課題を探しつつ、まずは薬剤科の業務整理から始めています。

これからもシムラ病院の一員として頑張ってお参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



● 新任・就任のご紹介

看護部 部長 富吉 直美 (とみよし なおみ)

このたび、看護部長に就任いたしました富吉直美です。
どうぞよろしくお願い致します。

シムラ病院は、救急医療を通して社会に貢献している、長い歴史を持った病院です。1日24時間1年365日絶えることのない医療を支えるため、心のこもった質の高い看護サービスの提供ができる看護師の育成が重要と考えています。

この病院に来て安心した、ここで良かったと、地域社会から必要とされるには、看護師の力は欠かせません。さらに、患者や家族だけでなく、同僚を思いやり信頼していくことも大切だと思います。看護部では、幅広い視点と心豊かな感性を持ち、確かな知識と技術を身につけた人材の育成と、多職種連携を推進し、やりがいのある職場を目指して取り組んでまいります。



看護部 看護副部長 山崎 真由美 (やまさき まゆみ)

このたび、看護部が新体制となり看護副部長が3人体制となりました。その一人として4月1日に看護副部長を拝命いたしました。これまでシムラ病院では、長年「緩和ケア」に携わり看護師長として病棟運営に関わってまいりましたが、外来に異動となり外来師長を兼務することになりました。

外来は「病院の顔」と言われるように、患者さまを最初に受け入れる場所であり、その場の対応が病院の印象に影響を与えてしまう重要な場所です。また、入院と在宅をつなぐ場でもあるため、外来看護師が果たす役割や責任は大きいと感じています。

「断らない医療」を目指す当院理念に基づいた看護部目標を達成するため、看護副部長間や多職種との連携をはかり、富吉看護部長を補佐し質の高い看護実践にむけた人材育成に貢献できるよう尽力して参ります。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



看護部 看護副部長 新谷 公伸 (しんたに きみのぶ)

4月より、看護副部長として就任いたしました新谷公伸と申します。シムラ病院および看護部の理念・基本方針に基づき、富吉看護部長の指揮のもと看護部職員へのタイムリーな助言や支援に心がけ、看護部の目標達成に向け精進していく所存です。

また、医療安全管理者として医療安全対策の推進を図り、医療事故を防止することで、シムラ病院の基本方針の一つにある「安全な医療の提供」に貢献できるよう医療安全の維持・向上に努めてまいります。

加えて、患者さんの安全のみならず、職員にとってもより安全で働きやすく魅力的な職場になるよう業務の評価と改善に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



● 脊椎専門外来について

特別院長 **藤林 俊介** (ふじばやし しゅんすけ) 診察日；毎週木曜日午前・土曜日午前

木曜日と土曜日の午前に脊椎専門外来を担当いたします。予約制とさせていただいておりますが、緊急性を要する場合は予約なしの患者様も診させていただきます。主に脊椎変性疾患の治療を行います。脊椎変性疾患とは加齢性変化に伴い生じる疾患です。具体的には腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、腰部脊柱管狭窄症、成人脊柱変形、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、脊柱靱帯骨化症、骨粗鬆症性椎体骨折などの疾患があります。それ以外にも脊椎外傷、脊椎腫瘍、脊髄腫瘍、感染などの脊椎炎症性疾患、腰椎分離症や疲労骨折などのスポーツ障害も診させていただきます。

低侵襲手術を目指した医療機器開発も行っており、すでにいくつかの医療機器は厚生労働省の承認を受けています。本院でも積極的に新規医療機器の導入を行います。当院にはペインクリニック専門医も常在しておりますので、保存治療は協力して行ってまいりたいと思っております。すでに手遅れで手術適応はないと諦めている患者様にもまだ可能性が残されているかもしれません。どうぞご相談ください。

以下、私が行っている主な術式をご紹介します。病態や患者様の状態に合わせて使い分けています。

- 腰椎椎間板ヘルニア：内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術 (MED)
- 腰椎すべり症：低侵襲腰椎側方固定術 (OLIF)、経椎間孔的腰椎後方椎体間固定術 (TLIF)
- 腰部脊柱管狭窄症：棘突起縦割式椎弓切除術、片側侵入両側除圧術
- 成人脊柱変形：変形矯正固定術
- 頸椎椎間板ヘルニア：頸椎人工椎間板置換術、頸椎前方固定術、顕微鏡下椎間板ヘルニア摘出術
- 頸椎症性脊髄症：頸椎椎弓形成術、頸椎前方固定術
- 骨粗鬆症性椎体骨折：椎体形成術 (BKP)、後方固定術、椎体置換術



筆者が日本に導入した低侵襲腰椎側方固定術の術式および手術前後のレントゲン写真



脊柱変形矯正固定術（左：術前 右：術後）



筆者が開発した移植骨採取が不要な脊椎固定用人工骨

● 内科の新体制について

院長 **高野 弘嗣**（こうの ひろし）

令和5年4月より、シムラ病院として初めて内科医師を迎えることとなりました。

常勤として高野弘嗣、清下祐介、非常勤として 福原基充、上垣内由季の4名の医師体制となります。

肝臓専門医、胆膵専門医、消化管専門医がそろっており、消化器疾患に対する専門的な診療、上下部内視鏡検査や治療を行うとともに、総合内科診療も力を注ぎたいと考えています。

まずは整形外科医、外科医の先生方が手術に専念できるように急性期のサポートを行いつつ、退院に向けた治療とかかりつけの先生方への診療情報の提供などにかかわらせていただきたいと考えております。

また、上下部消化管内視鏡検査の体制を充実したものに構築し、外来診療も拡充していく所存です。

地域の医療に貢献できるよう努めていく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。



高野先生 清下先生 上垣内先生



福原先生

● 専門外来「手の外科」について

整形外科 四宮 陸雄（しのみや りくお） 診察日；毎週火曜日午後

はじめまして。令和4年9月から毎週火曜日の14時からシムラ病院で外来をしています四宮と申します。私は平成19年に整形外科専門医を取得後、整形外科分野の中でも“手外科・マイクロサージャリー”分野を専門とし診療して参りました。“手外科”って何？というのが皆様の素直な感想だと思います。まだまだ世間には認知されていない領域と思われます。しかし、手の整容と機能は日常生活を送る上で非常に重要です。見た目、感覚、運動のいずれを欠いても日常の生活動作は支障をきたすでしょう。見た目は顔面について2番目に重要視される部位と言われており、綺麗に治すことが求められます。また手の感覚や運動はつまみ動作、把持、握りなどの獲得に必要不可欠です。



私は手の機能に問題を生じうる手疾患(外傷を含めた)に対して専門性を発揮する“手外科専門医”として地域の患者さんのお役に立てればと思っております。手の痛み、しびれ、麻痺、変形や外傷などでお困りの方がいらっしゃいましたら、一度受診してみてください。

● 患者支援センターのご案内

【紹介患者の受付】

- 病診連携、地域連携についてのお問い合わせは、082-231-6720（患者支援センター直通）へご連絡ください。
- 患者情報や診療依頼は、FAX(082-292-8680)患者支援センター宛てに送信ください。確認後必要に応じて診療の調整依頼を行います。
- 転院のご相談は、緩和ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟への転院のご相談、入院紹介を承っております。担当のソーシャルワーカーまでいつでもご連絡ください。

緊急 及び 一般病棟入院	*受付または患者支援センターまたは直接担当医師へご連絡ください
回復期リハビリテーション病棟	MSW（内線344）
緩和ケア病棟	MSW（内線517）

【がん相談】

令和5年2月から、緩和ケア認定看護師が配属されました。がん患者の治療・療養・意思決定支援等様々な相談・カウンセリングを行います。

【総合相談案内】

療養生活や退院後のことなど、何かお困りのことはありませんか？

社会福祉士の資格を有した、各病棟専任の医療ソーシャルワーカー（医療相談員、MSW ともいいます）と認定心理士の資格を有した看護師が様々な相談に応じます。予約が必要な場合もありますが、お気軽にご相談ください。

時間帯	平日：8：30～17：30	土曜日：8：30～12：30
連絡先	(代表電話) 082-294-5151	(直通電話) 082-231-6720
	(直通FAX) 082-292-8680	

「ハビリス・シムラ」のご紹介



特定施設入居者生活介護

介護付有料老人ホーム

ハビリス・シムラ

「ハビリス・シムラ」は「医療法人社団曙会 シムラ病院」隣地に開設した介護付有料老人ホームです。「ハビリス (Habiris)」とは「適した、ふさわしい」の意味を持つラテン語で、「リハビリテーション (Rehabilitation)」の語源になっている言葉です。

私たちは障害や疾病を抱える入居者様が「適した、ふさわしい」生活を送り、より良く生きられるよう支援することを理念とし、令和5年3月末時点で延べ81名の入居者様をお受け入れしました。今後とも病院隣接であるメリットを最大限生かした施設運営を行うことで、地域の皆様・医療機関の皆様のお役にたてるよう、職員一同精進してまいります。

引き続き宜しくお願い申し上げます。 施設長 澤 衣里子

ご入居までの流れ

- 1 **お問合せ** ☎082-503-5707 担当：徳弘 とくひろ
- 2 **ご見学** 現在お困りのこと、入居されてからの生活について、ゆっくりお伺いさせていただきます。
- 3 **入居申込** 入居をご希望の場合は、「入居予約申込書」にご記入ください。
- 4 **面談** 必要書類が揃い次第、専門職員が入居者の心身の状況やご要望等をお伺いします。
→入居判定
- 5 **ご契約** 入居後の生活について、ご説明いたします。
- 6 **ご入居** スタッフ一同、心よりお待ちしております。

「ハビリス・シムラ」の特徴



シムラ病院隣接

隣接するシムラ病院が協力医療機関として医療面をサポートします。



24時間看護師常駐

介護士はもちろん、看護師も24時間365日常駐。夜間でも必要な医療対応を行うことができます。(点滴、CVポート、気管切開、胃瘻、経鼻栄養 など)



訪問診療・往診

医師による在宅診療(訪問診療・往診)をご自身の居室で受けることができます。



ターミナルケア・看取り対応

入居者様・ご家族に寄り添うターミナルケアを提供致します。



ご入居者様募集中 (全室個室/定員50名)
お気軽にご相談ください。

介護付有料老人ホーム **ハビリス・シムラ**
 ≪お問合せ先≫ TEL 082-503-5707
 〒730-0841 広島市中区舟入町3番9号

【施設概要】 ■施設名称/介護付有料老人ホームハビリス・シムラ ■所在地/広島県広島市中区舟入町3番9号 ■類型/介護付有料老人ホーム ■介護保険/特定施設入居者生活介護 ■敷地面積634.75㎡ ■延床面積5388.64㎡ ■居室総数/50室(全室個室/定員50名) ■構造/規模/鉄骨造地上8階建て 耐火建築物 ■居室設備/エアコン、洗浄機付トイレ、車椅子対応洗面台、ナースコール、システム家具、照明器具、介護用ベッド ■共用設備/エントランス、食堂・機能訓練室、談話室、事務室、洗濯室、共用トイレ、脱衣室、一般浴室、機械浴室 ■居住の権利形態/利用権方式 ■利用料の支払形式/月払方式 ■入居一時金/0円 ■利用料月額(家賃、管理費、食費) 210,000円~260,000円 ※介護保険サービス費、医療費、自費サービス、紙おむつ代などは含まれていません ■入居時の要件/原則65歳以上の方、要支援、要介護認定を受けている方 ■入居時期: 2021年(令和3年)3月1日~ ■介護に係る職員体制3:1(要介護者3名に対し、常勤換算1名以上の職員体制 ※週40時間換算) ■土地建物の権利形態/事業主体所有 ■事業主/シムラ商事株式会社

● 外来診療予定表・整形外科専門外来

※令和5年6月1日時点

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
整形外科	午前	吉岡 (10:00~) 伴 植木 (広大整形)	池尻 澤 藤原	吉岡 池尻 藤原	藤林 村田 (10:00~) 齋藤	伴 藤原 沖本	藤林 産業医大
	午後	池尻 林 (広大整形)	村田 齋藤 四宮 (広大整形)	吉岡 齋藤	村田 (14:30~) 澤 生田 (広大整形)	澤 伴 沖本	広大整形 or 広大救急
整形外科 専門外来	午前	人工関節専門外来 吉岡	肩痛外来 池尻	肩痛外来 池尻	脊椎専門外来 藤林 村田	骨粗鬆症外来 沖本	—
	午後	肩痛外来 池尻 スポーツ外来 池尻 (完全予約制)	脊椎専門外来 村田 手の外科外来 四宮	人工関節専門外来 吉岡	脊椎専門外来 村田	骨粗鬆症外来 沖本	—
内科	午前	高野	清下	高野	高野	清下	高野
	午後	高野	清下	高野	清下	清下	広大救急
内科 内視鏡	午前	福原	上垣内	福原	上垣内	上垣内	福原
	午後	福原	上垣内	福原	上垣内	清下	広大救急
循環器 内科	午前	石橋	岡田	—	濱田	大澤	—
外科 消化器科	午前	岸	笹田 (広島大学腫瘍外科) (12:00まで)	平井	岸	平井	岸
	午後	平井	岸	平井	岸	坪川 (広大外科) (14:00~17:00)	広大救急
外科 専門外来	午前	—	乳腺外来 笹田 (広島大学腫瘍外科)	—	—	—	—
	午後	—	—	—	NST外来 栄養サポート・摂食障害 岸	—	—
緩和面談 外来	午前	—	池尻 (佑)	—	池尻 (佑)	—	—
	午後	池尻 (佑)	—	—	—	—	—

 医療法人社団曙会 シムラ病院

二次救急指定病院 / 労災保険指定病院 / 病院群輪番制病院 / 日本医療機能評価機構認定病院

〒730-0841 広島市中区舟入町3番13号

電話 082 (294) 5151 (代) 電話 082 (231) 6720 (地域連携室) FAX 082 (294) 5152

○診療時間 平日 午前/9:00~12:00
午後/14:00~18:00 (水曜 14:30~)
土曜 午前/9:00~12:30
午後/休日体制

※新患受付: 平日 17:45まで 土曜 12:15まで

○休診日 日曜・祝日 (急患は随時受け付けます)

標榜科目: 外科・整形外科・内科・消化器外科・循環器内科
消化器内科・肛門外科・乳腺外科・放射線科
麻酔科・リハビリ科・緩和ケア科・精神科

ホームページのリニューアルのご案内
<http://www.shimura.hospital>

ホームページQRコード

令和5年6月
リニューアル予定です。
ぜひご覧下さい。



こちらにかざしてご覧いただけます